

心不全で入院された

様へ

下記について同意しました（本人・家族）

病名	担当医師	担当看護師	社会医療法人 北海道循環器病院
診断群分類 区分名称	担当薬剤師	担当管理栄養士	
	担当理学療法士		

	入院日	入院2・3日目	入院4日目
目 標	＃呼吸困難感や倦怠感などの症状が消失し、バイタルサインが安定する		
処 置	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素吸入を開始します。 ・点滴を開始します。 ・尿を出す管（尿カテ）を入れます。 ・体温・血圧・脈拍・身長・体重を測定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素吸入を継続します。 ・点滴を継続します。 ・体温・血圧・脈拍を測定します。 ・体重測定をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素吸入を中止します。 ・点滴を中止します。 ・体温・血圧・脈拍を測定します。 ・体重測定をします。
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓の筋肉を保護する薬を点滴します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴を続けます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴→内服薬に順次変更します。
検 査	<ul style="list-style-type: none"> ・血液検査・尿検査を行います。 ・心電図・胸部レントゲン写真をとります。 ・心エコー検査を行います。 ・モニター心電計を装着します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニター心電計を継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・胸部レントゲン写真を撮影します。 ・モニター心電計をはずします。
食 事 飲 水	<ul style="list-style-type: none"> ・水は飲めますが、量には制限があります。 ・一週間以内に管理栄養士が栄養指導に参ります。 特別な栄養管理の必要性がある場合、 栄養管理計画に基づいた管理を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・心不全がなければ飲水の制限もなくなります。
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・体力回復に向けて、心臓リハビリテーションが開始となります（理学療法士がお手伝いします）。 		
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上で安静を保ちます。 		
清 潔		<ul style="list-style-type: none"> ・タオルで体をお拭きします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タオルで体をお拭きします。
排 泄	<ul style="list-style-type: none"> ・尿は尿カテから排泄されます。 ・排便は差し込み便器を使用しベッド上で行います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・尿カテを抜去します。 ・ポータブルトイレの使用を開始します。
説 明 指 導	<ul style="list-style-type: none"> ・これから行われる検査や治療について説明します。 ・同意書へのサインをお願いします。 ・入院中の必要物品・面会時間等について説明します。 ・薬剤師より薬について、管理栄養士より食生活について説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病状と今後の入院予定について説明します。 	

状況に応じて、予定が変更になる場合があります。不明な点がございましたら、ご遠慮せずお尋ねください。

平成29年2月7日改訂

病名

担当医師

&tagPatOrdDoc&

担当看護師

社会医療法人 北海道循環器病院

入院 5 日目

入院 6 ~ 12 日目

入院13日目(退院日)

	入院 5 日目	入院 6 ~ 12 日目 ~	入院13日目(退院日)
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸困難感や倦怠感などの症状が消失し、バイタルサインが安定する 	<ul style="list-style-type: none"> 心不全の病態や退院後の日常生活の注意点が理解でき、予防のための行動ができる 1. 病態と症状を自分の言葉で表現できる 2. 内服継続の必要性が理解できる 3. 受診の必要性とそのタイミングがわかる 4. 体重コントロールの必要性がわかりチェックできる 	<ul style="list-style-type: none"> 5. 浮腫チェックの必要性がわかり実施できる 6. 水分制限の必要性がわかり守れる 7. 負荷行動やリスクについて理解できる 8. 食事の注意点について理解できる
処 置	<ul style="list-style-type: none"> 体温・血圧・脈拍を測定します。 体重測定をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 体温・血圧・脈拍を測定します。 体重測定をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定をします。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 血圧や脈拍などの病状に応じて薬が変更になることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 血圧や脈拍などの病状に応じて薬が変更になることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院時薬をお渡しします。
検 査	<ul style="list-style-type: none"> 胸部レントゲン写真を撮影します。 血液検査を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 次回外来受診時に血液検査を行います。 次回外来受診時に胸部レントゲン写真を撮影します。
食 事 飲 水	<ul style="list-style-type: none"> 通常通りです。 	<ul style="list-style-type: none"> 通常通りです。 	
リハビリ			<ul style="list-style-type: none"> 可能であれば通院リハビリの手続きをお願いします。
活 動	<ul style="list-style-type: none"> トイレ・洗面所までの歩行ができます。 異常が出現しないようなら、病棟内は自由に歩行ができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 院内は自由に歩行ができます。 	
清 潔	<ul style="list-style-type: none"> タオルで体をお拭きします。 	<ul style="list-style-type: none"> 入浴ができます。 	
排 泄		<ul style="list-style-type: none"> 病棟のトイレを使用します。 	
説 明 指 導		<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師より薬について説明します。 管理栄養士より食生活について説明します。 退院後の運動方法について説明します。 医師より退院後の生活指導と治療方針について説明します。 	

状況に応じて、予定が変更になる場合があります。不明な点がありましたら、ご遠慮せずお尋ねください。

平成29年2月7日改訂